

司 式 熊 田 雄 二 牧 師
奏 楽 大 日 南 苗 香 姉 妹

前 奏
開 会 招 詞

* 賛 美 歌 17:1 エサイの根より

エサイの根より生出たる くすしき花は咲き染めけり
わが主イエスの生まれたまいし このよき日よ アーメン

* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈 禱 書 2 (詩 編 51 編)

神よ、わたしを憐れんでください。御慈しみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐい去ってください。わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。わたしは咎のうちに産み落とされ、母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。
わたしを洗ってください。雪よりも白くなるように。神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊をさずけてください。救いの喜びを再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。主よ、わたしの唇を開いてください。この口は、あなたの賛美を歌います。主イエス・キリストの御名によって。アーメン。

罪の赦しの宣言

十 戒 祈 禱 書 4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。 (出エジプト20、申命記5)

* 賛 美 歌 17:1 イザヤの告げし

イザヤの告げし救い主は きよき母より生まれましぬ
主の誓いの 今しも成れる このよき日よ アーメン

公 同 の 祈 禱 祈 禱 書 9 降 誕 節 第 二 主 日 受 胎 告 知

めぐ ぶか ちち かみ
恵み深い父なる神さま、あなたは、わたしたちを罪から救うために、神の御子を地上にお遣わ
しくださり、おとめマリアから生まれさせ、イエスと名づけられました。

その名は、あらゆる名の上^{うへ}にあり、「驚くべき指導者^{おどろ しどうしゃ}、力ある神^{ちから かみ}、とこしえの父^{ちち}、平和の君^{へいわ きみ}」
となえられ、すべてのものの救い主であることを覚えて、心から御名を賛美します。(ガラテヤ

4、イザヤ9)

献 金 (黒) 教会活動 (赤) キリスト改革派日本伝道会 70

今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン

聖書朗読 ルカによる福音書3章1～20節(新約聖書105頁)

説教・祈祷 「悔い改めの洗礼」 熊田雄二牧師

* 賛美歌 17:3 たえに尊き

たえに尊きイエスの御名の かおりはとおく世にあまねし
いざや共に 喜び祝え このよき日よ アーメン

* 主の祈り 祈祷書1

てん われ ちち
天にまします我らの父よ
ねが みな
願わくは御名をあがめさせたまえ
みくに き みこころ てん
御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ
われ にちよう かつて きょう あた
我らの日用の糧を 今日も与えたまえ
われ つみ おか もの われ ゆる
我らに罪を犯す者を我らが許すごとく 我らの罪をも許したまえ
われ こころ あ あく すく だ
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ
くに ちから さか かぎ なんじ
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

* 頌 栄 64み恵みあふるる

み恵みあふるる 父・御子・御霊の

ひとりのみ神に み栄え尽きざれ アーメン

* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告

雨宮信長老

I 最後の旧約預言者 洗礼者ヨハネ

きょうの聖書箇所は、洗礼者ヨハネが預言者としての働きを開始した場面です。イエス様より半年早く産まれたヨハネが、大人になって、イエス様の道を整える働きをする場面です。

洗礼者ヨハネは、やはり預言者だなと思わされるのは、厳しい裁きの宣告です。旧約聖書の預言書を読むと、預言者たちは、まず神の厳しい裁きを宣告します。それから救いの希望も語ります。そして王様にも同じことを語るの、命を狙われます。洗礼者ヨハネは典型的な旧約預言者です。

II 異様に長い年代設定

さて、第一場面は、「神の言葉が荒れ野でザカリアの子ヨハネに降った」ことです。この言い回しも預言者的です。しかし、この一言を言う前に、いつ神の言葉が降ったのか、年代を特定するのが異様に長いです。イザヤ書では「これはユダの王、ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの治世のことである」と、ユダの王の年代記だけです。明治、大正、昭和、平成と同じです。

ルカ福音書の宛先がローマ帝国の高官「テオフィロ様」なら、「皇帝ティベリウスの治世の第15年」とだけ言えば分かりそうなものですが、そのあと6人も名前を挙げて年代設定をしています。しかし、その中の「領主ヘロデ」がヨハネを捕らえて処刑することになります。そして、「ポンテオ・ピラトがユダヤの地方総督」というのも意味がありそうです。

III 洗礼者ヨハネの役割

ヨハネの仕事は3節、「罪の赦しを得させるために悔い改めの洗礼を宣べ伝えた」ことです。旧約預言者は皆、悔い改めて神に立ち帰るよう呼びかけました。偶像礼拝や不正行為に対する神の罰を宣告して、悔い改めて神に立ち帰るよう呼びかけました。ですから、ヨハネによる宣告も大変厳しいです。

「マムシの子らよ、差し迫った神の怒りを免れると、誰が教えたのか。」 旧約時代に甘いことを教えたのは偽預言者でした。「マムシの子らよ」と、あまりの迫りに圧倒された群衆は、「では、私たちはどうすればよいのですか」と尋ねました。徴税人や兵士も同じように尋ねました。ヨハネの答は、不正をやめよ、正義と公正を行なえと、預言者的です。

しかし、旧約預言者と違うのは、「悔い改めの洗礼」を授けることです。「悔い改めの洗礼」なら、私たちも悔い改めて洗礼を受けたのではないのでしょうか。何が違うのでしょうか？

ヨハネは、メシアと間違えられそうになった時、「私はメシアではない。私は水で洗礼を受けるが、メシアは聖霊と火で洗礼を受ける」と言いました。あれ？、私たちは水で洗礼を受けたけど、それはメシアの洗礼ではないのでしょうか。ヨハネの洗礼どまりなのでしょうか？

そうではなく、私たちは「父と子と聖霊の御名によって」洗礼を受けました。それは水の洗礼ではありますが、聖霊と火による洗礼でもあります。洗礼の水によって罪が洗い清められるのですが、それは聖霊の働きによって、キリストの血によって洗い清められるのであれば中身の無いものです。また、聖霊の働きによって、炎のような舌が分かれば分かれになって、多くの言語によって神の言葉が語られなければ内容の伴わないものです。私たちの洗礼は、私たちの理解できる言葉で聖書が分からなければ意味のないものです。

しかし、きょうの聖書箇所時点では、まだ、キリストの死と復活は起こっていません。「父と子と聖霊の御名による」洗礼は、そのあと授けられるものです。この時点では、「ヨルダン川沿いの地方一帯」というイスラエルの人たちに「悔い改めの洗礼」が宣べ伝えられたのでした。悔い改めとは、神に向きを変えることで、確かに、神の契約では、「悔い改めて立ち帰るならば、罪の赦しを得させる」と、神は約束しておられました（モアブ契約＝申命記30：1-4、ネヘミヤ記1：8-10）。

IV ヨハネの投獄とメシアの登場

しかし、それはさらに優れた「神の救いを仰ぎ見る」ための準備でありました。ですから、洗礼者ヨハネに命じられた「悔い改めの洗礼」は、「主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ」という、主イエスの登場に備えるものでした。主イエス・キリストによって実現する本当の救いを準備させるものでした。

そして「これは、預言者イザヤの書に書いてあるとおりである」ので、イスラエル人にも異邦人にも、「人は皆、神の救いを仰ぎ見る」ための準備です。今、私たちは、待降節という時の中にいます。今年は新型コロナウイルスの影響で、異常な事態でクリスマスを迎えることになりました。しかし、コロナ対策で、2回もクリスマス礼拝を献げることになりました。来週はスパーリンク宣教師、再来週は熊田牧師によって、クリスマス礼拝を献げます。

にぎやかなクリスマスにどっぷり浸かっているありさまから悔い改めて、神に向きを変えて、心を整えてキリストを礼拝する準備をしましょう。洗礼者ヨハネが牢に閉じ込められたので、いよいよイエス様の登場です。旧約預言者の働きは完了し、メシアの働きが開始されます。クリスマス礼拝とは、キリストを王様として心に迎え、キリストの働きによる恵みを受けることです。